

令和6年度学校評価結果の考察

徳島市新町小学校

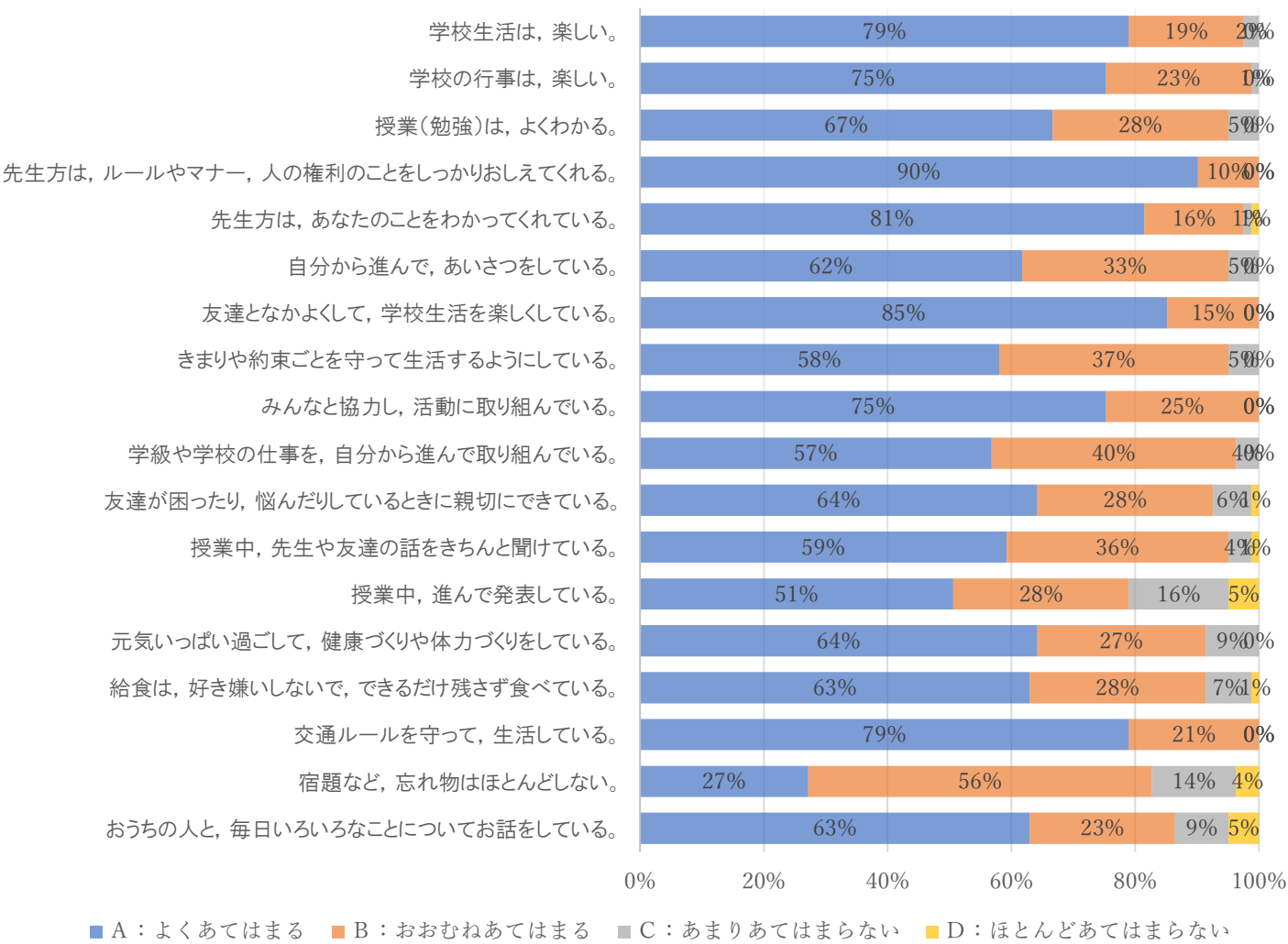
児童用,保護者用アンケートの結果について考察し,本校の課題を分析するとともに,来年度に向けての方策を考える。

I 児童アンケートから

児童アンケートは4段階(Aよくあてはまる Bややあてはまる Cあまりあてはまらない Dほとんどあてはまらない)で回答してもらっている。ここでは主に, A, Bの割合の和が80%を越える項目については,ほぼ達成と捉え, C, Dの割合の和が15%を越える項目については課題と捉えていく。

【児童アンケート結果】

令和6年度 学校生活に関するアンケート(児童用)



(1) ほぼ達成と捉える項目・・・%は、A・Bの割合の和

観点 1	学校生活は、楽しい。	98%
観点 2	学校の行事は、楽しい。	99%
観点 3	授業(勉強)は、よくわかる。	95%
観点 4	先生方は、ルールやマナー、人の権利のことをしっかりおしえてくれる。	100%
観点 5	先生方は、あなたのことをわかっている。	98%
観点 6	自分から進んで、あいさつをしている。	95%
観点 7	友達となかよくして、学校生活を楽しくしている。	100%
観点 8	きまりや約束ごとを守って生活するようにしている。	95%
観点 9	みんなと協力し、活動に取り組んでいる。	100%
観点 10	学級や学校の仕事を、自分から進んで取り組んでいる。	96%
観点 11	友達が困ったり、悩んだりしているときに親切にできている。	93%
観点 12	授業中、先生や友達の話をしっかり聞いている。	95%
観点 14	元気いっぱい過ごして、健康づくりや体力づくりをしている。	91%
観点 15	給食は、好き嫌いしないで、できるだけ残さず食べている。	91%
観点 16	交通ルールを守って、生活している。	100%

(2) 課題と捉える項目・・・%は、C・Dの割合の和

観点 13	授業中、進んで発表している。	21%
観点 17	宿題など、忘れ物はほとんどしない。	17%

(3) 考察

「よくあてはまる」と「おおむねあてはまる」を合わせた割合が80%以上であれば良好であると考え、全教職員で取り組み、ほとんどの項目で90%以上を達成できた。

しかし、課題としてあげられている項目は、2つあった。「項目13 授業中、進んで発表している」の割合が、今年度4.8%増加しているものの、まだまだ不十分である。発表の仕方を黒板上部に掲示し、自分の意見を伝える技術は学んでいるものの、自分から進んで発表はできていないという自覚が児童にはある。更に発表内容も表現力の向上を目指して言語活動を重視した授業改善を行い対話的な学びに継続して取り組んでいきたい。あわせて授業力向上に励み、主体的・対話的で深い学びの実現に向けての授業改善の拡充に努めていきたい。

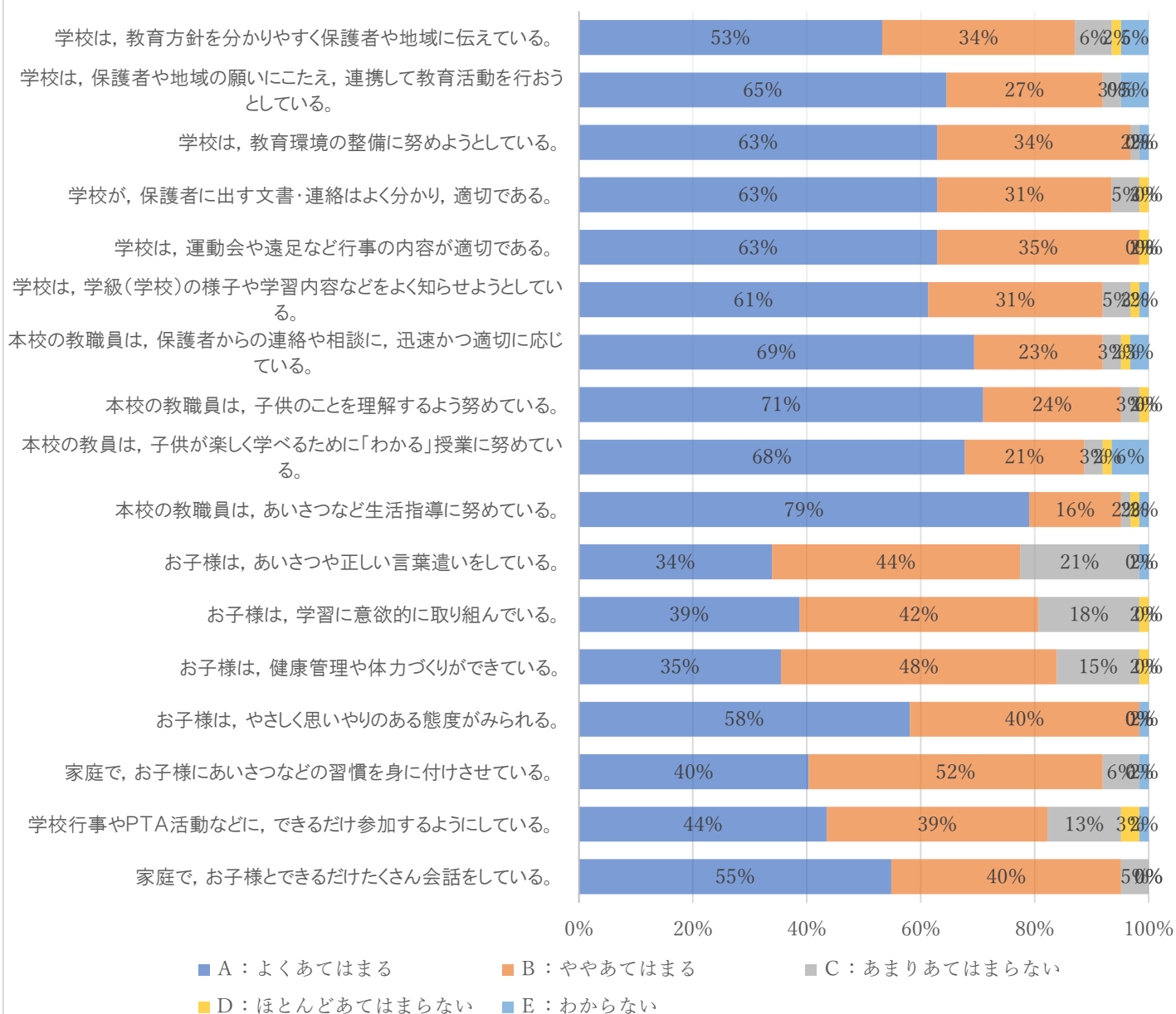
また「項目17 宿題など、忘れ物はほとんどしない。」の割合が、昨年度より約2.8%微増したものの、約81.5%と低い水準である。『学習習慣』は、基礎学力の基盤となる。家庭との連携を強化し、保護者の協力を得ながら向上を図っていきたい。

2 保護者アンケートから

児童アンケートは4段階（Aよくあてはまる Bややあてはまる Cあまりあてはまらない D全くあてはまらない Eわからない）で回答してもらっている。ここでは主に、A, Bの割合の和が80%を越える項目については、ほぼ達成と捉え、C, Dの割合の和が25%を越える項目については課題と捉えていく。

【保護者アンケート結果】

令和6年度学校教育に関するアンケート（保護者用）



(1) ほぼ達成と捉える項目・・・%は、A・Bの割合の和

観点1	学校は、教育方針を分かりやすく保護者や地域に伝えている。	87%
観点2	学校は、保護者や地域の願いにこたえ、連携して教育活動を行おうとしている。	92%
観点3	学校は、教育環境の整備に努めようとしている。	97%
観点4	学校が、保護者に出す文書・連絡はよく分かり、適切である。	94%
観点5	学校は、運動会や遠足など行事の内容が適切である。	98%
観点6	学校は、学級(学校)の様子や学習内容などをよく知らせようとしている。	92%
観点7	本校の教職員は、保護者からの連絡や相談に、迅速かつ適切に応じている。	92%
観点8	本校の教職員は、子供のことを理解するよう努めている。	95%
観点9	本校の教員は、子供が楽しく学べるために「わかる」授業に努めている。	89%
観点10	本校の教職員は、あいさつなど生活指導に努めている。	95%
観点12	お子様は、学習に意欲的に取り組んでいる。	81%
観点13	お子様は、健康管理や体力づくりができています。	84%
観点14	お子様は、やさしく思いやりのある態度がみられる。	98%
観点15	家庭で、お子様にあいさつなどの習慣を身に付けさせている。	92%
観点16	学校行事やPTA活動などに、できるだけ参加するようにしている。	82%
観点17	家庭で、お子様とできるだけたくさん会話をしている。	95%

(2) 課題と捉える項目・・・%は、C・Dの割合の和

観点11	お子様は、あいさつや正しい言葉遣いをしている。	77%
------	-------------------------	-----

(3) 考察

学校長のリーダーシップの下、「やる気いっぱい 精いっぱい 笑顔いっぱい」の新町小学校を目指して学校運営に取り組んできた。その結果、ほとんどの項目において高い評価を得ることができた。

しかし、課題としてあげられている項目は、1つあった。「課題11 お子様は、あいさつや正しい言葉遣いをしている」では、77%の低水準である。児童アンケートでは、『自分から進んで、あいさつをしている。』という回答が95.1%あることから、保護者は特に言葉遣いについてできていないと感じていることがわかる。日常生活において、正しい言葉遣いができるよう機を逃さず指導していく。

3 全体考察

一人ひとりの児童理解に努め、学力向上、体力向上、生徒指導等の取組について、教職員全体で不断の見直しを行い、常に共通理解を図りながら改善への取組を一層推進していく。

また家庭や地域の協力のもと、更に積極的・協力的な関係を育み、児童の育成に努めていく。